



事業番号	10 02 04	事業改善シート(令和4年度実施事業分)			□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	林業基盤整備事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
		実施期間	S39 ~	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進 3-8 生活を支える地域交通の確保				

### 1 現状と課題

目指す姿	県産材の効率的、安定的な供給、充実した森林資源の有効活用を図るため、森林の集約化と高性能林業機械の導入や基盤となる林内路網を一体的に整備し、地域を支え、持続的に発展する競争力の高い林業・木材産業の構築を目指す。 (里山の集約化、高性能林業機械の導入及び路網の整備により低コスト化・効率化を図り、素材生産目標(R4)80万m <sup>3</sup> を目指す)	
これまでの取組	里山の集約化、高性能林業機械の導入、オペレータ養成、県営林道の開設、補助林道整備、森林作業道整備等	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>里山の小規模個人有林等の整備を効率的に進めるためには、施業を集約化するための条件整備が不可欠となっている。</li> <li>作業の効率化及び安全性の観点から高性能林業機械の需要が高まっており、事業に対する要望も多くなっている。</li> <li>主伐、再造林時代の到来や林業機械・トラック等の大型化を踏まえ、基幹的な路網の必要性が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林整備等を実施するための施業同意の取得に取り組む主体を支援し、里山の森林整備の集約化を促進。</li> <li>事業計画内容から事業の優先順位を決定し、効果的な高性能林業機械の導入の促進を図る。</li> <li>林内作業道だけでなく、充実した森林資源の有効活用を図るため、基盤となる林内路網の整備を促進。</li> </ul>

### 2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○里山の森林整備の集約化を促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林税を活用し、里山の小規模所有者等の森林整備を進めるために必要な施業同意や境界明確化等を支援</li> </ul> </li> <li>○高性能林業機械の導入の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の素材生産の効率化と作業の安全性を高め、林業就業者の確保・定着を図るため、高性能林業機械の導入を支援</li> </ul> </li> <li>○充実した森林資源の有効活用を図るため、基盤となる林内路網の整備を促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県産材を効率的にかつ安定的に木材市場や製材工場に供給できる林道や作業道を整備</li> </ul> </li> <li>○森林路網情報のデジタル化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・GISやGNSSを活用し高精度にデジタル化された森林路網情報を、森林・林業関係者が互いに情報を共有できる仕組みを構築する。</li> </ul> </li> </ul>	 
	<p>【DX】</p> <p>森林を管理するための社会基盤である森林路網について、GISやGNSSを活用し、精度の高いデジタル情報として整備、森林・林業関係者が互いに情報を共有できる仕組みを構築する。</p> <p>【ゼロカーボン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高性能林業機械を導入し木材生産を効率的に進めることで、持続的な林業・木材産業の振興及び森林の保全を図り、CO2の固定・吸収に寄与する。</li> <li>・木材の搬出や森林の整備に必要な林内路網を整備することにより、持続的な林業・木材産業の振興及び森林の保全を図り、CO2の固定・吸収に寄与する。</li> </ul>	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	里山の集約化	ha	263	↗	333	↗	450	450
2	林内路網密度	m/ha	21.1	↗	21.4	→	21.4	21.6
3								
4								
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	前年度繰越	734,500	717,179	
	当初予算	976,472	985,874	要求 1,062,484 予算案 938,160
	補正予算	49,406	127,899	
	合計(A)	1,760,378	1,830,952	要求 1,062,484 予算案 938,160
	うち一般財源	41,629	63,755	要求 59,703 予算案 54,741
	決算額(B)	1,038,883		
職員数(人)	34.5	34.5	35.5	

設定理由	成果指標	1.効率的な県産材の供給を図るため里山の集約化の進捗状況を指標に設定 2.林道・林業専用道、森林作業道等による効率的な木材生産を推進するため指標に設定
	目標値	1.基本方針を基に設定 2.森林づくり指針を基に設定

予算要求からの主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業基盤整備事業のうち高性能林業機械導入推進事業の一部について、国の補正予算を活用し、1月補正予算に前倒し実施することにより、事業費を減額</li> <li>・林道整備事業のうち森林整備に直結する作業道整備事業の一部について、国の補正予算を活用し、1月補正予算に前倒し実施することにより、事業費を減額</li> <li>・林道整備事業のうち公共林道事業の一部について、国の補正予算を活用し、1月補正予算に前倒し実施することにより、事業費を減額</li> </ul>
--------------	--

事業番号	10 02 04	事業改善シート(令和4年度実施事業分)	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	林業基盤整備事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課

細事業No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	林業基盤整備事業	72,228 千円	87,729 千円	要求 予算案	134,895 124,229 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	高性能林業機械導入推進事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業事業体が行う高性能林業機械の導入(リースを含む)への補助【高性能林業機械補助予定台数:15台予定】</li> <li>林業事業体を対象とした、高性能林業機械のオペレーター養成研修の開催への補助</li> </ul>		
2	地域で進める里山集約化事業	交付金	森林税を活用し、里山の小規模所有者等の森林整備を進めるために必要な施業同意等の整備を支援 【集約化予定面積:450ha、交付金予定額:6,750千円】		

細事業No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
2	林道整備事業	904,244 千円	898,145 千円	要求 予算案	927,589 813,931 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	特定林道維持管理事業費	補助金	特定林道に対する財政支援を行い適切な維持管理と通行の安全を図る【1路線、約17kmの維持管理】		
2	森林路網DX推進事業	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林路網(林道)のデジタル情報収集調査【委託予定額:14,666千円】</li> <li>森林路網のデジタル情報管理体制の構築【管理経費予定額:5,334千円】</li> </ul>		
3	森林整備に直結する作業道整備事業	補助金	森林整備や間伐材の搬出を行うための作業道開設等に対する補助【補助対象路線:11路線、補助予定額:16,760千円】		
4	公共林道事業	直接 補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>県営事業による林道の開設【開設予定数:5箇所】</li> <li>市町村が行う林道の開設、改良、舗装等事業に対する補助【実施予定:開設4箇所、改良30箇所、舗装2箇所、他30箇所、計66箇所】</li> </ul>		
5	県単林道改良事業	補助金	地域の重要路線であり、一般者の入込みの多い特定林道の機能回復を図るための工事に係る助成【特定林道(南アルプス線、奈川安曇線)2路線】		